



みなとしみず

発行

国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所

御前崎港事務所/下田港事務所/田子の浦港事務所

静岡県清水区日の出町7番2号

TEL. 054-352-4146 (代表)

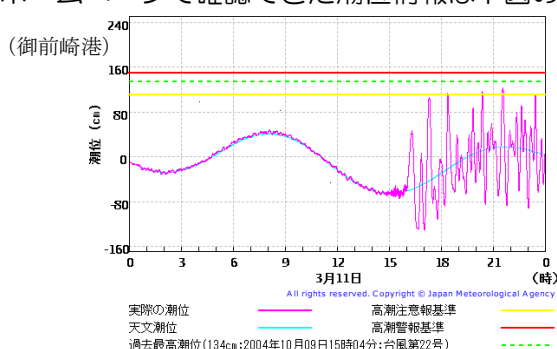
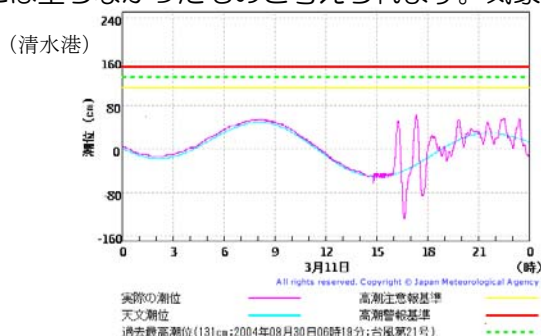
<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

平成23年3月11日に東北地方で巨大地震が発生しました 被災地・被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

平成23年3月11日(金)14時46分頃、東北三陸沖を震源地とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生し、この地震に伴う津波により東北地方の各地では未曾有の被害を受けました。

このような状況の中、国土交通省中部地方整備局では3月11日17時には災害対策用ヘリコプター1台と先遣隊2名をはじめ3月21日までに緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)123名、衛星通信車1台、照明車11台、排水ポンプ車7台、待機支援車4台、衛星小型画像電送装置(Ku-Sat)1台を支援、この内、港湾関係では3月12日(土)TEC-FORCE職員3名を宮城県の仙台港と塩釜港、岩手県の釜石港の港湾施設の被災状況の現地調査に派遣し、また、海上から支援緊急物資を輸送するために名古屋港湾事務所の油回収船「清龍丸」を3月13日岩手県釜石港へ派遣、3月16日(水)に入港、3月17日(木)9時から支援緊急物資(非常食1800食、水1800L、毛布40枚)及び復旧機材としてバックホウ2台の輸送など早期復興に向けた支援を行い(以上平成3月21日16時現在の状況)、その後も引き続き支援を行っているところです。

一方、清水港湾事務所が所管する静岡県沿岸については3月11日(金)15時30分に津波警報が、16時8分には大津波警報が発令され、清水港においては16時17分0.9m、御前崎港では17時18分1.4m、下田港では22時55分0.8mの津波を観測しました。その後、3月13日(日)7時30分の解除に伴い陸上及び海上から岸壁等の港湾施設の点検を実施した結果、船舶利用に支障を及ぼすような被害は認められませんでした。なお、1m前後の津波が襲来しましたが、干満の差があまり大きくない「小潮」と呼ばれる時間帯で、主に引潮時に最大波が到達していることから、結果として異常な高潮位には至らなかったものと考えられます。気象庁のホームページで確認できた潮位情報は下図のとおりです。



出典：気象庁ホームページ(清水港・御前崎港の潮位)

「風向き」

清水港湾事務所長 奥田 薫

今回の震災の犠牲者のご冥福をお祈りします。また、被災地、被災者の皆様のご心痛・ご苦労は大変なものとお察しし、心よりお見舞い申し上げます。

何よりもまずは被災地の救助、復旧、復興が急がれます。一方、今清水に勤務する私にできることは、今回の経験を、以降の地震における減災にいかにつなげるかを考えることであると思っています。これまでの報道等から、想定以上の地震と津波が甚大な被害を引き起こしたものと考えられます。想定を越える状況を改めて想定することは、今回の地震被害の実態を把握した上で分析的、全国的な議論が必要であり簡単なことではありませんが、現に発生したことへの対応として、真剣に取り組まなければならないと考えています。これまでこの「みなとしみず」においても、災害・事故等への対応が重要と認識している旨書かせていただきましたが、今回改めて痛感しています。

新興津国際海上コンテナターミナル第二バースの工事進捗状況を報告します

新興津第二バースの骨格が見えてきました。



新興津国際海上コンテナターミナル（全景）

新興津国際海上コンテナターミナル第二バースは、入港するコンテナ船の大型化や潮待ちによる非効率な状況を解消するため、また、地震により被災しても軽度な工事で復旧可能な水深 15m の耐震強化岸壁を整備しています。

当第二バースの全体整備は国際海上コンテナターミナルの骨格となる施設を整備する国(国土交通省)と背後のヤードを担当する県との協働により進められています。

第二バースの国が整備する施設としては、岸壁、泊地、防波堤からなるプロジェクトで進められ、平成 20 年度より工事を開始しました。

その内、岸壁につきましては鋼とコンクリートによるハイブリットケーソンからなり、全体 350m の内、250mが進み、残すところあと 100m（ケーソン4函）となりました。

岸壁、泊地につきましては平成 24 年度完成を目指し鋭意工事を進めています。

【訂正とお詫び】

日頃より「みなとしみず」をご高覧いただき、ありがとうございます。

前号(100号1面)で掲載しました、「田子の浦港中央地区国際物流ターミナル岸壁部分の供用を開始しました」の本文におきまして誤った記載がありましたので訂正いたします。

文中“田子の浦港中央岸壁は昭和 62 年に鋼矢板工法により整備”とありますが、昭和 62 年ではなく昭和 42 年が正しいと読者の方から指摘をいただきました。正しくは昭和 42 年でした。

訂正とともにお詫びを申し上げます。今後とも「みなとしみず」をよろしくお願いいたします。

海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル
おーいに よくなれ みなと
0120-497-370

受付時間: 9時30分～12時、13時～17時(土・日、祝祭日は除く) その他、海とみなとに関することは
☆携帯電話・PHSからもご利用できます 何でもお問い合わせください

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

■本紙に関するお問い合わせ先■

清水港湾事務所 企画調整課

深澤・杉山 Tel 054-352-4148

ご意見ご感想をお寄せ下さい。

shimizukouwan@pa.cbr.mlit.go.jp